雨にぬれても…

山元（やまもと） 眞（まこと）（行橋（ゆくはし）教会主任司祭／福岡教区）

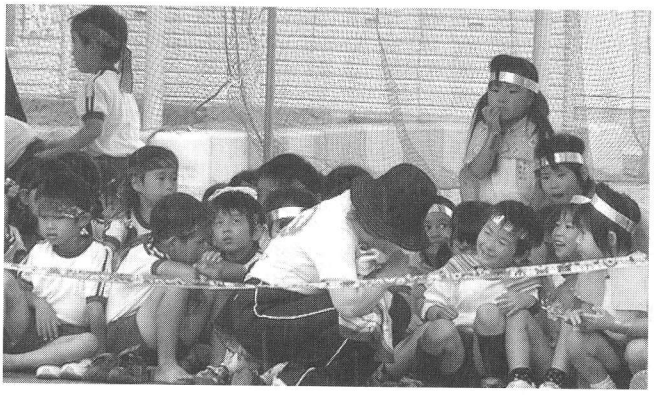
山元（やまもと） 眞（まこと） 神父

この記事が読まれる頃は、もうすっかり秋だと思うが、十月に行われた幼稚園の運動会の様子を書いてみたい…。

運動会をするとき、一番気になるのが天気。その日のほとんどの予報は雨八〇パーセントだった！　しかし、私のパソコンのスポット予報では午後三時まで曇り。降雨量はゼロ。これを信じた。運動会をするかしないか当日朝六時半に決めることになっていた。ほんの少しだけ雨がぱらついていたが、空は思ったより明るかった。迷わず実行することに決定した。

開始前に少し降ったことでグランドのコンディションは最高。曇り空の下（もと）で運動会が始まった。午前中はたいして降ることもなく、予定のプログラムを無事終了。

昼休みが近づくと雨が降り出した。テントと園舎の中で昼食。雨の降り具合が気になる。パソコンで雲の動きを確認する。ひどくならないうちにと思い開始時間を少し早めに変更した。しかし、予定時間になっても雨は止まず、ますます降る気配。園長と主任と体操指導者が本部席の前に佇（たたず）む。雨にぬれながらじっと立ってグランドの状態をみたり、空模様をみたり…。時間が過ぎていく。短時間の間にいろんなことを決断しなければならない。



まずは…保護者競技を中止にした。グランドに少し水が浮いてきたので、リレーの決勝は無理と判断。後日に持ち越すことにした。年中と年長児の演技はやる。「風呂敷マン」と「ソーラン節」。子どもたちは自作の？風呂敷をマントのように肩にかけ、年長児はハチマキをして出番を待っている…。保護者の皆さんも、いつ始まるのかと待っている。雨は止まないどころか風も少し吹いてきた。雲とにらめっこ…。完全に止むことは期待できない。

雲がほんの少し切れて明るくなった気がした。今！　小降りの中で午後の部を始めた。拍手が子どもたちを励ます。かわいい子どもたちの演技が雨の中で

始まった。

風呂敷は期せずして雨よけのマント代わりになった。演技が終わってテントに戻ったところで濡れた頭をタオルで拭く…。

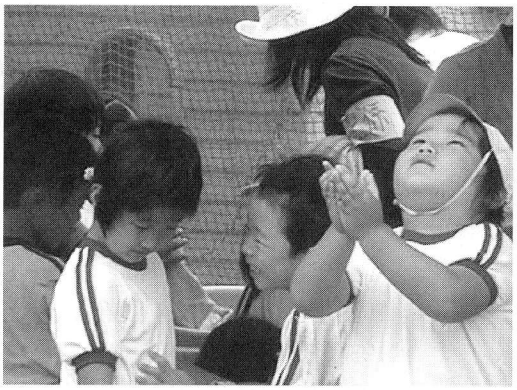
ソーラン節の演技は雨のおかげでいつになく気合いが入ったようだ。すでにグランドには水が浮いていたが、そのようなコンディションにもかかわらず楽しんで元気よく踊った。

全園児の整理体操と閉会式はテントの中で終えた。雨の中で行われた運動会。子どもたちも職員も、そして保護者の皆さんも…みんなが一つになって、一つのことをやり遂げた感じ。終わったとたんに本降りの雨。その中でも保護者が残り、片づけを最後まで手伝ってくださった。

運動会のリハーサルはするが雨が降った場合のリハーサルはしない。その時はぶっつけ本番になる。園長としては怖いところ。その時に日ごろのこと（保育）が表に出るから。できれば完璧な天気の下でリハーサル通りにしたいもの。ボロがでないように…。

忍耐強く騒がないで待ってくれた園児も、急かすことなく静かに待ってくださった保護者も、そして子どもたちと一緒に園児用のテントの中でじっと待っていた職員も…すばらしいと思った。皆、祈るような気持ちでいたのだろう。

雨はいやなものだろうか。行事の時に雨が降ることは、はっきり言っていやなもの。喜ぶ人はいないだろう。計画通りにいかないし、後のことが面倒だ。



しかし、雨そのものに罪はない。

子どもたちは雨が降ってもいやな顔をしない。演技をしたい気持ちがつのるだけのように見えた。そして、雨の中でも一生懸命に踊った。うれしい顔をしながら…。

最近の子どもたちは雨にぬれることがあるのだろうか。園への送り迎えも、車（バス）で戸口から戸口へ。自分で傘をさすことはあるのだろうか。濡れないように…まわりが気を遣いすぎてるのではないか。園では、雨降りでもみんなで園庭に出たりすることもある。長靴はいて、傘さして…。

雨が降ってよかった…。午後の開始前、園庭でじっと雨に打たれながら、幼少の頃ぬれた雨をふと想い出した。

【教会ホームページ】
http://www.yukuhasi.catholic.ne.jp/
【ブログ】
http://micheleyam.exblog.jp

＝善き隣人として奉仕する＝
葬儀の御用は弊社に
TEL 03-3702-0156　FAX 03-3702-0159
※御報参上・手続代行他。
㈱ 沼崎商会
サマリア式典部　沼崎　馨
〒158-0086 東京都世田谷区尾山台3-9-6